

希望

やっぱい皇中がすき♡

【大津市立皇子山中学校だより】

平成28(2016)年 7月15日発行

第5号 生徒数：780名

＜ 教育目標・めざす生徒像 ＞

「たくましく生きる生徒の育成」

「情操豊かな生徒の育成」

「社会性のある生徒の育成」

暑中、学期末懇談会！ありがとうございました！

7月15日(金)、各学年、1学期末懇談会を行いました。保護者の皆さまにはご多用のところご都合をつけていただきありがとうございました。

さて、中学校の「通知票」は、学習面における生徒の取り組みを、一定期間いろいろな観点から捉え、そのがんばり・努力・評価できるところや、反対に課題となっているところを5段階の数字で示しています。

よかったら嬉しいし、悪かったら悲しくなる・・・一喜一憂は当然かもしれませんが、通知票の本来の目的はそうではありません。**今回の通知票をもとに、がんばったところをさらに伸ばす(得意にする)、反省すべきはしっかり反省して苦手克服に努力する、つまり、次の一定期間でのさらなるがんばりや一層の努力・奮起を促すことを最大のねらい**としています。

長い夏休み！学習面の課題を乗り越えていくためには「勉強をがんばる」という思いはもちろん大事ですが、気持ちだけではなかなか長続きしません。通知票の中に文章で書かれている「所見」をヒントにしたり担任の先生と相談したりして、自分の生活面と結び付けて取り組むことが大切になってきます。目標と計画性をもって、生活リズムをしっかりと整え、メリハリのある毎日を過ごしてください。

そして、2学期スタート時に「約40日間で自分は〇〇〇をやり遂げた！」などと自分で自分の成長を胸張って誇れる夏休みにしてほしいと願っています。



夏休みはチャンス！！

おまつ家庭教育5か条

- 第1条 あいさつは 人とつながる 第一歩
- 第2条 朝ごはん しっかり食べて たくましく
- 第3条 伝えあう 会話で築く 家族の絆
- 第4条 抱きしめて 子に伝わる 親のまごころ
- 第5条 語り合い 努力かさねて かなう夢

■ 夏休みは、家族のきずなを見つめ直し、深めるチャンスです・・・！

思いやりにあふれた明るく、楽しい家庭は、子どもの心を豊かに育てる出発点だといわれています。忙しい毎日のなかでも、家族そろって囲む食卓や心のこもった食事は、家族の愛情を自然に子どもの心に伝えていくものです。和やかな雰囲気の中で会話をすること、そしてその繰り返し、無言のうちにきずなを深めることに大いに役立っているといえるのではないのでしょうか。

■ 夏休みは、自主性・創造性・社会性を育むチャンスです・・・！



花火、夏祭り・・・夏休みは子どもにとって季節感を感じるイベントや地域の行事も多いはず！？いろいろなことにチャレンジするよい機会です。年齢の異なる子どもと遊んだり、幅広い年齢層の方とコミュニケーションをとったりするなかで、さまざまな、あたらしい発見があるのではないのでしょうか。
(裏面に続きます)

以前、研修会の場で、学校の諸問題に関わっておられる弁護士さんから次のような話を聞く機会がありました。

おもな部分を抜粋すると、「**愛着障害**」ともいうべき親子関係における課題（例えば身体的・心理的な虐待ケースや養育が放棄されているネグレクト、また、家族が一堂に会して食事や話をする機会が少ないコミュニケーション不足など、いわゆる愛情不足のケース）の中で、子どもがストレスを感じ、さまざまな形で＜気になる行動＞が表面化するケースが増加傾向にある。

また一方で、その対極ともいえる、「**過プレッシャー型愛着障害**」に起因する課題

（例えば、親の子どもに対するプレッシャーや支配力、期待が過剰なまでに強いケース）の中で、子どもが親の期待に答えているうちは問題が顕著にならないものの、ひとつの失敗・挫折体験に過剰な期待が加わると、子どもはプレッシャーに耐え切れず、愛情要求の裏返しとしてさまざまな形でストレスを表面化させるケースも増加傾向にあるという内容のお話でした。

どんなにつらいこと、悲しいことやさびしいことがあっても、その人のそばへ行ったり、声をかけてもらったり、思い出したりすると心が和みます。**「心のよりどころ」**としている特定の誰かに甘えることで、キュッと閉じかけていた心がホッとして和み慰められるのは、おとなも子どもも同じです。

とりわけ、子どもにとっては**「心のよりどころ」**が大切です。甘えられる存在がいることで、相手から受け入れられ、**「自分は愛されている」と実感**することができます。そして、その思いは「自分で自分自身が好きになる、自分を信じていいんだ」という**自尊感情や安心感の高まり**につながり、その自尊感情や安心感はやがて**「思いやり」**となって他者へも向けられていくといわれています。

長い夏休み、一度このようなことにも目を向けていただければと思います。

文責 島崎 輝久 (校長)

人を愛せる子ども

結団式風景

7月11日(月)、2学期の体育大会へ向けて8色(赤・水色・黄・橙・桃・紫・緑・黄緑)の各団の結団式を行いました。

部活動以外の場面での先輩・後輩という縦の関係づくりは大切ですね。夏休みの間に蓄えたエネルギーを爆発させて・・・今から体育大会がとても楽しみです!!



